

徳島市在住の姉弟が交通安全マップを用いて 徳島市議会議員にガードレール等の設置を要望

日本損害保険協会四国支部 徳島損保会(会長：橋口 信也・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 徳島支店長)では、当協会が実施している第20回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」で交通安全マップを作成した徳島市在住の小学生2名が、同マップを用いて徳島市会議員の本田議員に要望提言を実施しました。

徳島市在住の小学生2名は小学校5年生と2年生で自宅付近の道路について、安全なところ、危険なところを確認するために交通安全マップを作成しました。そして、危険なところを多くの方に知ってもらい、未来の街づくりのきっかけになるように今回の要望に至りました。

<概要>

日時：2024年2月14日(水) 16時15分~16時45分

場所：徳島市役所議員応接室(徳島市幸町2丁目5番地)

対応者：徳島市議会議員 本田 泰広 氏

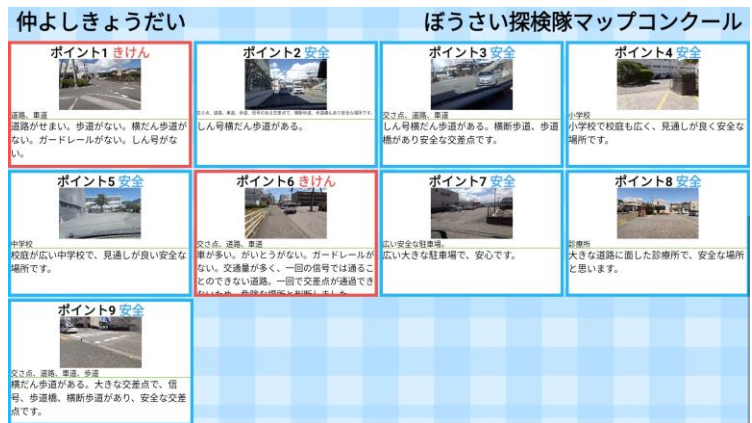
主な要望・提言

- ・ドライバーが安全に運転するような看板の設置等を検討して欲しい。
- ・支援学校や小学校がある道路にガードレールを設置してほしい。

本田市議会議員から、マップ作成の際に苦労した点や、作成する際のポイントなどの質問がありました。最後に今回の提案について、「交通事故が減少できるよう活動していくとともに、今回提案のあった道路も改善できるように関係部署に働きかけていきたい」といった説明がありました。当支部では、引続き行政等と連携し、交通事故の低減に向けた取組みを推進して参ります。



提案書を受け取る本田市議会議員



子ども達が作成した交通安全マップ